

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和6年度第1回加東市商工業振興協議会
開催日時	令和6年7月2日（火）10時00分から12時00分まで
開催場所	加東市役所 2階 202会議室
議長の氏名（長沼 恒雄） 出席及び欠席委員の氏名 （出席委員 9名）長沼 恒雄、柳 隆之、増田 一貴、小林 宮子、吉田 伊佐見 長谷川 妙子、本岡 賢二、寺尾 優樹、長田 徹 （欠席委員 1人）川元 浩司	
説明のため出席した者の職氏名 —	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 産業振興部商工観光課 課長 杉本 亜弥子、副課長 竹内 誠彦、主事 新地 翔太	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 別紙「令和6年度第1回加東市商工業振興協議会の経過」のとおり	

(別紙) 令和 6 年度第 1 回加東市商工業振興協議会の経過

1. 開会

2. 報告事項

(1) 令和 5 年度商工業振興施策の実績について

(2) 令和 6 年度商工業振興施策の計画（案）について

発言者	会議の経過/発言内容
事務局	<資料に基づき、令和 5 年度加東市商工業振興施策の実績及び令和 6 年度商工業振興施策の計画（案）について説明を行う。>
委員	ポイントシール補助事業については、良かったと思います。ありがとうございました。 令和 6 年度実施しないことについて、水道料金の補助など、予算が関係しているということは分かっていますが、商店街、商工業の立場で言うと、商売人のためにということではなく、個人の方のためにと思います。 この前旅行に行ったのですが、宴会場で宴会も始まってきている反面、個人消費に関しては物価高、円安の影響で個人の購買力が落ちておりまして来店数も全て落ちております。電気代等も非常に上がってきており、購買意欲はあるけれども、購買できないという状態になってきていると思います。 インバウンドに関しては、兵庫県もゴルフ事業として加東市も観光協会さんと連携して、ゴルフの支援をやっているの、外国人の方が来られていいなと思います。 しかし、今後もそういうものをつかみながらどうにか消費が増えないかなという趣旨だと思うと、今ポイントシール補助事業の観点から言っただけですけど、実際は市民としての立場の購買力は、「円安・物価高」で落ちています。ゴルフ場など、加東市自体は恵まれたところなので、今活かせる事業をもっと考えていたり、逆にできたらなと思っています。私たち自身も頑張らないといけないのかなと思っています。
議長	ポイントシール補助事業について補足させていただきます。 ポイントシール事業については、商店連盟の事務局などを商工会の方で担当させていただいています。 どこから来られたかなど、様々な情報が集まっているのですが、どこの商店の消費が一番多いなどのデータ分析ができておらず、事務局としては、精算できているかなど、予算管理に一番注力していると思います。そこを分析するなど、現状の状態分析ができればと思っています。 そのほかに、加東市の助成事業として、「原油価格等高騰経済対策事業補助金」を実施し、データの分析及び作成を事務局である商工会で行いました。どの規模感の会社がいつ、どれぐらいの金額を申請するのかという情報が分析できました。データの分析・使用ということは大事であると思います。 また、昨日からゴルフ協会、例年実施しているスタンプラリーを 3 か月間で開始し、今年度からデジタル化しました。昨年度のデータですが、スタンプラリーの期間中、一番来られている市町は、西宮市、次いで三田市、加東市です。近隣市町の小野市や加西市からは来られていないということでした。西宮市や三田市は高速など交通の便がよいからなのか、近隣市町である小野市や加西市に対する周知が不足しているのかなど、データを分析することで施策を実施できるのかなと思います。

	今までは、紙での実施でしたので、担当が入力するなど事務的な負担も大きかったのですが、デジタル化したことにより、その負担も軽減できますので、今後データ分析・活用を進めていけたらと思います。
委員	先ほどそのデータの分析ってということで様々な事業に注力されているということを伺いました。 一つ、先ほどゴルフ場のお話がでましたけどもそういった部分においては、本当にデータ分析結果を持って市のゴルフ協会などで、例えば次年度以降の事業で、補助金に関係する話題にはなつてこようかと思いますが、実施計画や有無について、協会内で協議いただき、どういう風に展開していくのかを教えていただきたいなと思っています。 もう一点が原油価格の話もそうなんですけど、なかなか私どものたくさんの事業者にご意見を聞くことが難しく、個別に伺い、相対的に把握することができていない状態です。 ですので、データを取っておられるということであれば、分析結果をご共有いただけましたら、今後の事業に反映していくことができると思いますので、その点をお願いしたいと思います。
議長	商工会の会員については、入退会の影響で、1,000名前後を推移しています。 3・4か月経ってから送るのではなく、メールアドレスを利用して、リアルタイムで実施したいと思います。 現在、加東市商工会にメーリングリストの作成をお願いしていますので、完成しましたら、仕組化していきたいと思っています。
事務局	前後してしましますが、報告事項のところで、創業塾等は加東市商工会と連携して行っています。 今回委員として、加東市商工会事務局経営支援課の***委員にお願いしておりますので、令和5年度の加東市商工会の実績やポイントをご説明いただきたいと思います。
委員	昨年度の加東市商工会の取組についてですが、16ページ加東市商工会の補助事業のところをご覧ください。 まず創業支援事業になりますが、令和5年度は加東市創業塾を初めて年間2回開催し、各回20名近くの方に参加いただきました。 そこからその後創業された方もいらっしゃいますし、引き続きこちらのご支援を行っていききたいと思います。今年度は過去の創業塾受講者を対象にした創業者交流会の開催を予定してます。そういった形で創業者のフォローアップをしていきたいと考えています。 また、事業承継支援事業についてですが、基本的には個別相談で対応しています。 しかし、会員の事業所へ巡回すると、跡継ぎがいないなど、そういうことをおっしゃられるところもかなりあります。 そういった事業者につきましては、兵庫県事業承継・引き継ぎ支援センターや、日本政策金融公庫の事業ビジネスマッチングというようなデータバンクを活用しながら支援していきたいと考えます。
議長	創業塾は毎回、概ね15名程度の参加があります。 卒業後のフォローアップができていない部分がありますが、商工会の中で創業者交流会などによるフォローアップをしていきたいという動きがあります。 職種はサービス業が多く、7・8割を占めているという印象です。 私自身も出席しているのですが、印象的だったのは定年を見据えて、副業としてスタートしたいという方がおられることです。喫茶店を閉じた

	けれども、子どもが自立したので再開したいなど、色々な方がおられます。そういった第二の人生としてスタートされる方が多い印象です。 少しですが、補足とさせていただきます。
--	--

(3) 企業誘致及び産業創出のための施策について

発言者	会議の経過/発言内容
事務局	<資料に基づき、企業誘致及び産業創出のための施策について説明を行う。>
議長	商工会でも、会員企業様の中で廃業という方も多くおられます。先ほどの議題で、入退会のお話をしましたが、退会の理由として、廃業が一番多いです。***委員はいかがでしょうか。
委員	うちは、3代目の私で終わりかと思っていましたが、息子が帰ってきて、続けるということで、様々な補助金を活用させていただいて、脱毛サロンやテイクアウトドリンクショップをスタンド内に設置し、オープンいたしました。 2年かかりましたが、商工会などにご協力いただき事業再構築補助金を活用しました。 ガソリン業界は低迷の事業なので、いつどうなるか分からないということで、何か違う事業をできないかという考えでいます。息子など、若い世代の方は私共の発想では思いつかないようなことを考えています。 加東市商工会の青年部に入らせていただいたんですが、皆さんとても意欲的に様々な補助金を活用して、色々な事業をされています。 やはり、若い方のこんなことやあんなことをしたいということに対しての補助金を設けることで、またそこで何か花が咲くのではないかと思います。
委員	私は2代目になります。 私が聞くとところで、廃業するところはあるんですが、後継ぎの方については、現状の負債を背負っていけるのかなどを気にしておられる方が多いと思います。 先ほど、***委員が言われたように新たなことで売り上げをしっかりと伸ばしていくというところで、売上を伸ばすっていう意識はしていないと駄目なんです、やはり新たなことをするにはお金が要りますので、それ以外金融機関さんからのサポートなど、もう少し手厚くすることが可能であれば、もっと頑張ろうとか、新たに始めようとする方もどんどん増えていくんじゃないかなと思います。
事務局	商工会さんが個別相談会を実施されていますが、後半になれば参加される方がないというお話がありました。これまでも商工会に事業承継に関するセミナーの開催について、相談させていただいたときに、問題を人に知られたくないために相談しづらいという課題もあると思っています。 広域で事業承継に関するセミナーを開催することで、自身がお住まいの市町以外でセミナーを受講することができるので、知り合いに知られにくく、参加しやすいのではということで、今回企画しているのですが、その点については、いかがでしょうか。
委員	セミナーは、そんなに気になりません。ですので、広域で開催することはいいいと思います。 また、加東市商工会では青年部が頑張っており、70名程度が所属し、

	うち45名が活動しています。そのコミュニティは補助金の活用や横での情報共有など本当に良い形だと思います。 親の会社を引き継ぐ方については、自分の会社の状況などは分からず、働き始めてから分かると思いますので、資料に記載されているようにセミナーを開催するだけでなく、セミナーを開催して、個別相談を受けるという形は良いと思います。 皆様が思っておられるように事業承継というのは、自身がその身になって、やっていかないと難しいと思います。 その前の段階で戻ってきってくれるかどうかという部分になるとそこはちょっと非常に難しいと思います。 帰ってこられていれば、加東市商工会青年部に入ってくださいなど、コミュニティへの参加を促すことができますが、難しいと思います。 セミナーや個別相談会については、大阪など様々な場所でたくさんしていますので、自身で動いていくことが必要だとも思います。
委員	***委員ははじめから家業を引き継がれることを考えておられたのでしょうか。
委員	元々、調理師の専門学校に通っていました。 そのため、少しの間離れていたのですが、家の苦勞している部分や良い部分も見てきました。4人いて、長男になるのですが、早い段階で調理の道に進みたいということは決めていたのですが、親が頑張ってきている姿は見ていましたので、儲かっている儲かっていないということは関係なく、引き継いでいこうという意味になりました。 今回、新型コロナウイルス感染症の影響があったことなど、やっぱりどこかで景気が変わったりということがあると思いますので、先ほど***委員がいわれたとおり、引き継いだ者がどんどんつかみ取りに行くか、今後いろいろセミナーに参加するっていうことをやはりしていけないと、どんどん上がっていかないということはあると思います。 やはり、加東市商工会青年部の中でも、身内での意見交換はできるのですが、伸ばしていくという話はあまりありません。 兵庫県にセミナーを受けに行ったりしている方もおり、そういう方に話を聞くということは最近増えてきました。 そういう新しい事業をされて事業が伸びてきた方の失敗したことや成功したこととかも含めてもうちょっとそういう話をできる場があればいいなと思います。 今は、何となく加東市商工会青年部に入っている方も多くいらっしゃると思います。 加東市商工会青年部に入ることによってこういったことができるなどを私達が発信していくことで、入っていただけたり、そこから盛り上がってくるのではないかと思います。
委員	うちの会社どうしようとかいうのがまず根底にあって、それをしようとしたときに色々な支援を受けに行くということが理想だと思います。 そんな中で、市の方も何とかうちもそういう頑張っておられる方に対して、色々な方面から支援ができればなと思っています。
委員	経営計画を立てるためには、簿記など勉強しないと難しく、分からないと思います。やる気というところは大切なのかなと思います。 事業承継支援については、市はどのような支援をイメージされているのでしょうか。
議長	私自身も実際に今承継しないといけない立場にありますが、承継問題は企業の規模感によって異なりますので、どういうカテゴリーに分けて

	考えていくのかということもあると思います。 自分自身が倒れてしまったらという企業もありますが、ある程度の規模感になると、日常のオペレーターもいて、会社は機能していくなど、規模感や構成などによって、異なると思います。 ですので、加東市商工会としては、施策の中でも小規模企業を狙っていくなど、ターゲットを決めないといけないのかなと思います。
事務局	市の中でも7～8割近くが中小・零細企業になりますので、その部分がメインターゲットになると思います。 質問になりますが、先ほど横のつながり、情報交換という話題がありました。今回につきましては、セミナーで考えています。 先ほど、事業承継について、市はどのような支援を想定されているんでしょうかというお話がありましたが、他の自治体をみていると、横の繋がりを作るために跡継ぎの人たちを集めてコミュニティを形成し、横の繋がりを持っていただくことで、支援制度などの情報はコミュニティ内の皆様に共有されるなど良い形ができているものをみたり、他には、事業承継で先代経営者が後継者に引き継ぐ際に発生する費用やコンサルティングの費用を補助するっていう補助制度の整備をする自治体もあったりします。 その中でも、加東市としては今回、セミナーや個別相談窓口を実施しています。 やはり、お話にあります加東市商工会の青年部員の方だと活発な情報・意見交換が行われたりすると思うのですが、市としてもそういったコミュニティづくりをサポートしていくという形をとるのも良いのでしょうか。
議長	自社が加入しているグループがあります。 このグループは、次の世代の方達が集まって、自分の会社の仕事の仕方などをワークショップ形式で意見交換を行うものです。 例えば、***委員の世代の方々が自分はこのビジネスモデルを考えているなどを発表したりということを行っています。 その場合は、やはりアドバイザーがサポートしており、様々なビジネスモデルの手法などを整理しながら、横のつながりを設けるというこのような事例は知っています。 良い企業の例は勉強になりますので、加東市の中でも、勉強会や発表会の場を設けて、コミュニティを構築するという仕組みづくりは考えられるのではないかと思います。 加東市商工会で気になるのは、次の世代の女性の方がおられないというところが気になる点です。
委員	女性部でも入ってくださいという周知は行っていますが、やはり子育て中であることや、男性が働き、女性は家を守るという日本の考えがあること、主人や家族の理解がないとできないということからは入られない方もおられます。廃業を原因として辞められる方もおられます。 後継ぎの方の奥様方に入っていただきたいのですが、子育ての優先度が高いことや女性ご自身で何かしたいという方が多く、私達の女性の異業種交流会させていただいておりますが、もっと出てきていいのではないかと思います。
議長	創業塾は女性の方の方が多い印象です。
委員	創業される方は多いのですが、同業種の関わりのみで、他業種と関わらず、加入されていない方が多いです。

議長	若手社員や女性社員がベテラン社員の集まりに入るのは少し抵抗があるのではないかと思います。 そのコミュニティはコミュニティでよい効果があると思うのですが、若手のコミュニティを構築するための補助など後押しできるものがあればいいのかなとも思います。
委員	女性のお話しで言いますと、女性で起業された方のお話しを聞く機会などがあまりないと思います。 そのような機会を設けたセミナーの開催や、成功例や失敗例を聞くことができる場があれば、女性も入ってきやすいのではないかなと思います。
委員	若い男性・女性経営者に対してのワークショップの施策などができればいいなと思います。
事務局	9月に北播磨広域定住自立圏で開催する創業セミナーでは、講師の方とお話している中で、実際に創業された方にご登壇いただければ、創業がイメージしやすいことや相談しやすいということから、加東市や加西市、西脇市、多可町で創業された方にご登壇いただく予定です。 今回、ご意見いただきましたので、圏域市町にも共有させていただきまして、今後のセミナーにも反映いたしたいと思います。

3. 意見交換

兵庫教育大学との連携事業（STEAM教育）について

発言者	会議の経過/発言内容
事務局	<資料に基づき、兵庫教育大学との連携事業（STEAM教育）について説明を行う。>
委員	昨年度、ポスターセッションで提案までしていただいたのですが、今回は、提案で終わるのではなく、成果物を作っていただきたいということをお願いさせていただきました。 難しい部分もあるかとは思いますが、例えば、課題に対して、ショート動画を作成するということであれば、提案だけではなく、実際にショート動画を作成いただき、数か月に一度更新いただくなど、実際に運営いただくところが理想の成果というお話をさせていただき、教授方も最終的には成果物を完成させたいなということでご理解いただきました。
議長	社会課題を解決するために実証実験を行い、課題解決するというのが最終のゴールです。 ***委員と兵庫教育大学教授とお話している中で、例えば、アクア東条などの観光施設をリニューアルする案や商店街のシャッターを魅力あるものにしていただくことなどは可能で、そういった提案をいただければと思っています。 この事業については、継続事業となる可能性が高く、「教育養成フラッグシップ」の指定を受けている大学ということで、兵庫教育大学と加東市商工会、加東市商工業振興協議会の間で連携協定を結ぶ予定です。 「教育養成フラッグシップ」の中では、新しいプログラムを研究・開発するなどの先進的な取組を行い、取組から得られた知見を他の大学に共有していくことが役割となっています。 今までにない新しい授業に取り組んでいくことが求められているということで、その中で加東市も一員として入るというものです。 他には電動自転車や電動キックボードを実験的に兵庫教育大学内に設置

	することなどは可能ですので、提案としていただければと思います。 また、ポスターセッションによる中間発表がありますので、ぜひ足を運んでいただければと思います。
委員	私の知る限りでは、加東市に学生が1,000人、先生が300人いると思いますが、社地域内で学生を見たことはありません。実は学生は、小野市や西脇市などからきています。神戸行きのバスがあり、神戸から行って帰ってくるだけの学生がいます。もっと学生が色々なことができるようなものを考えていくことが必要だと思います。 また、私の知る限りでは、兵庫教育大学を卒業し、教授になる割合は85%程度です。ほとんどの学生が先生になるので、商店街を含めて、加東市の街自身が、大学の街の雰囲気があるというストーリーを作る必要があると思います。もっと学生が先生になるような支援を考えていく必要があると思います。
議長	今、教授に状況を聞いていると、大学に来て、加東市内には行かずに帰るという学生がほとんどです。 教授に聞くと、バスターミナルの横には、にぎわい交流施設 haK がありますが、バスの時間帯に合わせてに乗るだけで、haK にも寄らないということでした。
委員	その学生達は先生になりたいと思ってきているので、有名な先生を呼んでくるなどの取組を商店街内の空き家でどんどん取り組んでいくべきだと思います。
委員	私も兵庫教育大学ができてからゼミの先生と付き合いがあるのですが、兵庫教育大学に来てくれている学生の方もこちらで泊まりはせず、大阪の方へ行かれるとのことでした。 一時、市のイベントに兵庫教育大学のブースを設けて、アピールする交流会をしようというお話がありました。 女の子の学生は手を挙げてくれましたが、全体としては手が挙がらず、実りませんでした。 学生たちは加東市のことを知らないのも事実です。 ですので、市のイベントでブースを設けて出展していただくなど、アピールしていくことが良いと思いました。
議長	この前は***大学と連携して、若い世代を呼び込もうという題材で授業を行いました。が、縛りがないので難しかった。 しかし、今回の授業は必ず加東市について取り組まないといけないという授業で設定しています。 また、2年後には必修科目になり、学生数も増えてきますので、授業の一環として学生を連れ出すことができます。 最終、授業の縛りがなくても、***委員が言われたような形となって、学生の方々が出てきやすい環境にしていきたいと思っています。 本当に市内にこんなに学生がいるのかと思うほど学生がいますので、その学生の方々が出てきやすい環境を整備していけたらと思います。 また、テーマがありましたら、事務局へ言っていただければと思います。

4. その他

5. 閉会